



⑧ 子供の学びを保障するICT整備

～小・中学校未来を拓く教育の情報化推進事業費～



7億5,897万円

財源区分：下記のとおり

タブレット端末を活用した個別支援の充実と臨時休業等における子供たちの学びを保障する環境を実現するため、「1人1台端末」「高速通信ネットワーク」「オンライン学習環境」を一体的に整備し、全ての子供たちに最適な学習環境を提供します。

1人1台端末整備 3,182万円 (補助 国45千円/1台)

☆小・中・義務教育学校に16,366台のタブレット端末を追加整備し、1人1台の端末環境を実現

総事業費 (5年リース)	16億9,116万円
国庫補助金 (事業者へ)	7億3,647万円
市負担分 (5年総額)	9億5,469万円
R2予算額 (2か月分)	3,182万円

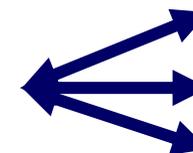


高速通信ネットワーク整備 7億2,457万円 (補助 国1/2・市債90%)

☆高速大容量 (1Gbps) の通信ネットワークを整備し、1人1台端末を快適に活用できる環境を実現

オンライン学習環境整備 258万円 (補助 国1/2)

☆小・中・義務教育学校に558台のwebカメラを整備し、web会議システム等を活用したオンライン学習環境を実現



(1) 郡山市の考えるオンライン学習について

① 教科書に準拠したタブレットドリルによる自主学習

児童生徒の学力向上を図るために、算数・数学の教科書に準拠した東京書籍のオンライン型教材「タブレットドリル」を整備し、算数・数学以外の国語、社会、理科、英語についても実証研究を行う。

- ・ 児童生徒1人1人についてアカウントを取得するため、家庭での利用が可能。

② 学習支援コンテンツポータルサイトを利用した自主学習（郡山市のwebサイトに掲載）

教科書をもとにして、家庭で自主的に学習できる内容や、家庭学習をサポートするサイトの紹介など学習支援の情報を発信している。

(2) 郡山市の考えるオンライン授業について

① 録画した動画の配信によるオンライン授業

あらかじめ録画した授業の動画を配信し、児童生徒に視聴させる方式。

② 授業支援ソフトウェア（ロイロノート・スクール）を活用したオンライン授業

テキストや画像等を授業者と児童生徒がリアルタイムにやり取りをしながら授業を進める方式。

- ・ 児童生徒が簡単に発表できるツールと双方向の通信機能がある。
- ・ 児童生徒が教師から出された課題に対する考え等をデジタル化したカードに記入し、それを提出することで考えを学級全体で共有したり、そのカードにコメント等を書き込んで教師が児童生徒に返却したりできる。
- ・ 児童生徒相互がそれぞれの考えを短時間で共有し、意見交換ができる。

※ 児童生徒1人1人にもロイロノートを使用するアカウントが付与される(家庭のPC等でも使用可)。

③ web会議システム（Zoom等）を活用したオンライン授業

授業者が児童生徒の様子を確認しながら、リアルタイムに映像や音声で授業を配信する方式。

- ・ 映像や音声で双方向のやり取りができるシステム。
- ・ パソコンだけではなく、スマートフォンやタブレットなどさまざまな種類の機器での利用が可能。
- ・ Zoomは40分間まで無料で利用でき、100人まで参加できる。

- ① 録画した動画の配信
- ② 授業支援ソフトウェア（ロイロノート・スクール）
- ③ web会議システム（Zoom等）

- ・ 教師が説明する
- ・ 児童生徒が個別に課題に取り組む
- ・ 児童生徒が話し合いや発表をするなどの授業の場面や学び方に応じて、選択する。

(3) オンライン授業のガイドラインや操作マニュアル作成と教職員の研修について

① ガイドライン

- ・ 授業の場面や学び方による、使用するシステムの選択や使用上の留意点
- ・ オンライン授業時に児童生徒の参加確認方法と参加できていない場合の対処方法
- ・ 家庭のインターネット環境に応じたタブレット端末の持ち帰りや家庭への協力依頼等のガイドラインを作成し、8月には各学校に送付予定

② 操作マニュアル

動画配信の方法や web 会議システム(Zoom)の操作方法のマニュアルを作成し、各学校に送付。

③ 教職員の研修について

ICT 出前講座や ICT 活用授業づくり学習会、専門家によるセミナー等 において、授業支援ソフトウェア（ロイロノート・スクール）等の研修を実施する。
 なお、オンライン授業の機器使用上における不明な点は、ICT ヘルプデスクへの問合せで対応。

(4) 1人1台端末整備完了前のオンライン授業の対応について

1人1台端末の整備完了前にオンライン授業を実施する場合には、分散登校と組み合わせて、家庭の端末を利用したオンライン授業を検討。家庭に端末がない児童生徒に対しては、学校の整備済み端末の持ち帰りやパソコン室の開放などの対応をお願いする。

R 2年9月～R 3年1月	R 3年2月以降
<p><貸出可能端末数></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校 LTE タブレット 3052 台 ○ 中学校 LTE タブレット 2670 台 <p><対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分散登校 ○ 学校の PC 室の開放や学校の整備済み端末を持ち帰ってのオンライン授業 ○ 家庭の端末を利用したオンライン授業 	<p><貸出可能端末数></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校 LTE タブレット 3052 台 Wi-Fi タブレット 10740 台 ○ 中学校 LTE タブレット 2670 台 Wi-Fi タブレット 5626 台 <p><対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分散登校 ○ 整備済みの Wi-Fi 端末や LTE 端末を持ち帰ってのオンライン授業

(5) 家庭のインターネット環境等に応じた対応方法

- ① インターネットを利用できない。
- ② インターネットは利用できるが、通信量の制限がある。
- ③ インターネットは無制限に利用できるが、Wi-Fi 環境がなく、子どもが利用できるパソコンやタブレットはない。

LTE 型タブレット端末の貸与や、学校のパソコン室等の開放によりオンライン学習に対応する。

- ④ インターネットは無制限に利用でき、Wi-Fi 環境もあるが、子どもが利用できるパソコンやタブレットはない。

1人1台端末の整備が完了するまでは、LTE 型タブレット端末の貸与や学校のパソコン室等の開放により対応する。
 1人1台端末整備完了後は Wi-Fi 型タブレット端末を貸与してオンライン学習に対応する。

- ⑤ インターネットは無制限に利用でき、Wi-Fi 環境はないが、子どもが利用できる Web カメラ付きのパソコンがある。

1人1台端末の整備が完了するまでは家庭の端末を利用させていただく。
 1人1台端末の整備完了後は LTE 型タブレット端末を貸与して、オンライン学習に対応する。

- ⑥ インターネットは無制限に利用でき、Wi-Fi 環境があり、子どもが利用できる Web カメラ付きのパソコンやタブレットがある。

1人1台端末の整備が完了するまでは家庭の端末を利用させていただく。
 1人1台端末の整備完了後は Wi-Fi 型タブレット端末を貸与して、オンライン学習に対応する。